

## 【労働組合 関連 1 支部 磯原委員長コメント】



今回の賞与要求は、将来的な賞与制度導入にあたっての最下限水準 2.5 カ月を念頭に組み立てています。一方で、制度導入の前提は安定的な利益確保であり予算達成であります。

その観点では、今後のアクションプランの内容や進捗度合いが非常に重要となります。本社と現場が一体となって取り組んでいく必要があると考えます。VOICE の声では、慢性的な要員不足と時間外の取り扱いをはじめ、日々のコミュニケーションにおける問題意識やすれ違いが見受けられました。

今後に向けては、これらの事象の原因を改めて考察し、意識改革に繋がる取り組みを本社、現場双方にて進めていく必要があると感じました。お互いに最初から否定から入るのではなく、他者の意見に耳を傾け、一旦受け止めた上で、自分の意見を述べ、相手の理解度合いに応じて丁寧な説明、意見交換を心がけるよう、改めてお願い申し上げます。

なお、VOICE で多くの意見を頂いた時間外については、毎月各人の時間外の状況、累計等を共有化させて頂きたく、お願い申し上げます。組合が物申すとか指導が入るというのではなく、労使お互いに状況を正しく把握することが目的でありますこと、改めて労使それぞれに機会を見つけ現場へ発信、説明をしていければ幸いです。